

AMDA

多様性の共存 ジャーナル

認定 特定非営利活動法人アムダ (AMDA)
http://amda.or.jp/
特定非営利活動法人 AMDA 社会開発機構
http://www.amda-minds.org/
特定非営利活動法人 AMDA 国際医療情報センター
http://amda-imic.com/

2013年7月25日 VOL.36 第266号 定価550円
発行/AMDA 〒700-0013 岡山市北区伊福町3-31-1
TEL 086-252-7700 FAX 086-252-7717
E-mail:member@amda.or.jp
郵便振替:01250-2-40709 口座名:特定非営利活動法人アムダ

2013年
夏号

夏

救える命があればどこへでも

アジア相互扶助緊急救援ネットワーク会議

会議を経て広まり、稼働を始めた『開かれた相互扶助』の概念

2013年4月12日から18日までの日程で開催された「アジア相互扶助災害医療ネットワーク会議」により参加国の代表らから今後の国境を越えた「開かれた相互扶助」について前向きな意見が集まりました。会議開催後に発生した災害において、早速このネットワークが活用され始めています。

会議に参加したAMDA バングラデシュ支部の以下の活動は会議参加者にも共有され、今後の災害救援にも活用されます。

バングラデシュビル倒壊事故 緊急支援活動



倒壊現場で緊急救援活動を行う
JBFH、AMDA バングラデシュ支部の医療チーム

2013年4月24日午前9時30分頃、バングラデシュの首都ダッカより20km程北西に位置するサバル地区にある建物ラナ・プラザ(5つの縫製工場含む)が崩壊し、死者1,127名、負傷者2,400名以上を出す大惨事となりました。

事故発生直後より、AMDA バングラデシュ支部と日本バングラデシュ友好病院(JBFH)が合同で緊急医療支援チームを組織し、救助用の機材も不足する中、事故現場で負傷者の救出や病院への搬送、必要物資の援助、遺体の搬送を行い、同時に献血への協力を呼びかける活動も行いました。これを受け、AMDA 本部も救援活動への参加を決定

し、本部の看護師1名を現地に派遣しました。

被害者を受け入れている病院から、「医薬品の寄付は十分だが、入院治療中の負傷者の栄養補給が行えていない。」という情報を受け、栄養補助食品の配布を決定。被災者の多くが入院するエナム医療大学附属病院、国立外傷整形外科リハビリ病院、ダッカ病院の3病院において、計280名の負傷者やその家族に栄養補助食品を、AMDA 看護師らが一つ一つ患者や患者の家族らと言葉を交わしながら手渡すことができました。

入院中の負傷者の多くに重度の擦過傷、切傷や裂傷、単純骨折、骨盤骨折、脊髄損傷、四肢切断、胸・腹部外傷、頭部外傷が見られ、手術の順番を待つ人も大勢いました。中には、この事故で肉親を亡くした方もおり、身体的苦痛に加え、精神的にも大きなダメージを受けている様子が見受けられました。また、被災者の中には、AMDA 看護師の手を握り、涙ながらに喪失の悲しみや将来への不安を訴える人がいました。

さらに被災者の状況を注視していた



患者一人一人に声をかけて物資を手渡す山崎看護師

ところ、食料支援や追加的な医療支援が必要であることと判断されたことから、6月7日、AMDA バングラデシュ支部とJBFHはビル崩壊による被災者への診療活動と薬の配布、食糧支援を実施しました。医師・看護師などの医療スタッフ30名からなる医療チームが結成され、ビル崩壊現場のある地区のサバルアダハルシャンドラ高校にて、診療、集団心理療法、薬の無料配布などの医療支援が行われ、約400人が治療を受けることができました。さらに食料支援として米800kgと豆200kgを配布することができました。

■派遣者

山崎 希/AMDA 職員/看護師
サーダー アブドゥル ラザック/
AMDA バングラデシュ支部事務局長

バングラデシュ サイクロン・マハセン緊急医療支援活動



無料診療活動を行うAMDA バングラデシュ支部医療チーム

5月15日深夜に強力なサイクロン・マハセンがバングラデシュ南東部の沿岸地域を通過しました。

AMDA バングラデシュ支部と日本バングラデシュ友好病院の合同緊急支援チームは2チームの編成を行い、支援活動にあたりました。第1チームは5月14日ダッカを出発し、サイクロンの最前線に近いコックスバザール県タクナフ郡での活動を実施。サイクロン

通過による被害を減らすべく、避難場所の提供などの活動を行いました。

第2チームは19日にカラパラ郡ニルガン町のバクヒマラバザールで、約200人に対して無料診療や医薬品の提供を実施する。必要に応じて点滴なども行いました。さらに約400人に対して米フレーク、糖蜜などの食品や、マッチや衣類などの生活支援物資の提供を実施することができました。

AMDA 大槌健康サポートセンターからの報告

6月上旬に、AMDA 大槌健康サポートセンターが仮事務所に移転して、約1か月が経過しました。

来所された利用者の皆様からは、「前より広くなり気持ちいい」「仮設住宅よりとても広い、住みやすそうでいいですね」「家の様にくつろげる」との声をいただいています。ただ、津波の被害を受けたエリアへの移転に対しては「波を浴びたところに引っ越したのは、嫌だし不安だ」との声も上がっています。一日も早く新設のセンターを建設を進めるべく設計などの段階に入っ



仮事務所で開催した「手芸教室」

ています。新設にあたり、より利用者の皆様に気軽に使っていただける施設になるように、様々な意見を出し合っています。

雄勝町・天然酵母パン教室 震災以降初の雄勝町公民館事業！



天然酵母パン作り体験教室
みんなで一緒に記念撮影

2013年6月20日、21日の2日間、石巻市雄勝町のオーリンクハウスを会場に「フライパンでできる天然酵母パン作り体験教室」を実施しました。これは、2012年10月からAMDA 大槌健康サポートセンターで開催した「フライパンでできる天然酵母パン作り養成

講座」が地元の方々の意欲形成に大きな成果を出していることから、雄勝町での開催が決定したものです。雄勝町では震災前には活発に公民館事業が行われていましたが、震災後は休止となっていました。そこで、雄勝公民館の主催事業として、本体験教室の開催が実現しました。

『東北応援！ハッピーデリプロジェクト 笑顔届けよう！』代表の梶晶子氏が講師となり、2日間で約20人の方が参加しました。

今回の体験教室に参加された方々の意見を集約した結果、9月から3か月間、大槌町で開催した講座と同じく雄勝町でもフライパンでできる天然酵母パン作り講師の養成講座を開催することが決定いたしました。

2時間のパン教室が終わる頃には、講師の梶さんの気さくなお人柄も影響して笑顔溢れる教室となりました。梶さんのお話では「パン作りは五感すべてを使うことから癒しの効果がある」そうです。その言葉のとおり、参加者の皆さんの表情が生き生きとしていくのが大変印象的でした。また、参加者の皆さんから「雄勝町に戻るきっかけになった」「狭い仮設住宅でも、簡単に作れる」「公民館事業が再開して嬉しい」という喜びの声を頂き、本事業の意義を実感いたしました。

今後は、地元に残る事業として3ヶ月間の講師養成講座を雄勝町で9月から実施する予定です。

AMDA 大槌健康サポートセンター プロジェクトオフィサー 大久保彩乃

多くの住民の方々や町外から来られる方が皆一緒に集えるような場所作りをしたいと考えています。そのためには、もっと住民の方のニーズを取り入れ、私達自身もわくわくするような「新・AMDA 大槌健康サポートセンター」作りを目指しています。

7月は、仮事務所での運用ですが、外部の施設なども活用すること

とで、教室の数も増え、新しい教室も住民参加型で企画され始めています。

また、パン教室の養成講座の卒業生の方々からも、講師としてパン教室を持っています。少しずつ外部からの講師依頼なども寄せられ、卒業生それぞれが意欲を持って、新たな一歩を踏み出す様子が見て取れ、「養成講座」の意義を強く感じています。

これからも、「住民の体・心の健康をサポートするふれあいスペース」をコンセプトに住民の方の笑顔があふれるコミュニティスペースを目指します。



7月のイベントカレンダー

AMDA 高校生会 東日本大震災ボランティア 活動報告会を開催します

*

AMDA 高校生会による活動報告会を開催します。たくさんのご参加をお待ちしております。

日時：2013年7月28日
13:00～16:00（受付12:30～）
会場：岡山国際交流センター3F研修室
内容：●AMDA 高校生会活動報告
●参加者によるディスカッション
「東日本復興支援において高校生ができること」

対象：高校生、一般
申込：AMDA ボランティアセンター
086-252-7700
member@amda.or.jp

AMDA 国際部 東北担当 プロジェクトオフィサー 大政 朋子

AMDA 大槌健康サポートセンター（岩手県上閉伊郡大槌町）で開催した養成講座の反響を受けて、今回、講師の梶さんのご協力のもと宮城県石巻市雄勝町でパン作り体験教室を開催致しました。雄勝町の中心地にできたコミュニティスペースのオーリンクハウスで開催することによって、雄勝町内および震災前に雄勝町に住んでいた方々など様々な地区からご参加いただきました。

参加者の皆さんは、はじめは緊張した面持ちで参加されていましたが、約

中国四川省地震に対する緊急支援活動

2013年4月20日現地時間午前8時頃、四川省雅安蘆山県でマグニチュード6.6の地震が発生しました。今回の地震による被害は、死者193人、負傷者12,211人(4月23日新華社北京)で、家屋損壊なども多く見受けられました。さらに、被災地が2,000m以上の高地であるため、多発する余震や降り続く大雨で落石や土砂崩れが起これ、被災地への道路が塞がれたために、中国政府が被災地への出入りを制限していました。

この状況を受け、AMDAでは、笹山徳治調整員を現地に派遣し、被災状況

の把握を目的とした調査や支援を行いました。笹山調整員は4月23日に四川省へ向け出発し、四川省対外友好協会関係者と面会し、義援金を贈呈しました。また、食糧支援物資(高たんぱくな簡易食品10,000袋)の購入、配布準備を行い、笹山参与の帰国後、現地協力者を通して、眉山市丹棱県赤十字に食糧支援物資を贈呈しました。

今回の支援活動では、様々な制限がある中で、ニーズ調査に基づき、規模は小さくても確実な支援を行い、緊急救援を終えました。今後も、被災した看護学生を対象とした奨学金プログラ

ムなどの復興支援を行う予定です。

■派遣者

笹山 徳治／調整員／AMDA 参与



地元支援者とともに準備した支援物資

グアテマラ地震に対する緊急支援活動 フォローアップ活動



物資を手渡す AMDA マルティネス医師

2012年11月8日にグアテマラ西部で発生したマグニチュード7.4の地震災害に対しAMDAは、寒さに直面する被災者の生活環境を改善させる為、AMDA社会開発機構ホンジュラス事務

所のスタッフ2名を派遣し、トトニカパン県ツアニスナン村の被災者に TENT 14個、寝袋50袋を提供しました。

緊急支援活動終了後も、AMDAは状況を注視していたところ、高原地帯にある被災地では、被災者の生活再建が思うように進んでいないことが現地協力者を通して明らかになり、改めて被災者への復興支援を行うことを決定しました。

2013年3月18日、調整員、医師1名、地域組織のリーダー1名、トトニカパン県女性支援課コーディネーター1名、県政府の担当者2名を含むチームを結成し、県内のツアニスナン、メディア・クエスタ、チメンテ、マクスルの山間部

4集落の先住民族80世帯に対して、米・豆・油・インカパリーナ(高蛋白質補給物)等の食糧救援パックを配布しました。今回の活動は、実施が決定した時点で、被災地を管轄する地方政府の女性支援課が、被災世帯をリストアップしたり、県政府が車両の貸し出しを申し出たりと、地元の積極的な協力を得て行われました。支援の目が届きにくい山間地域での復興支援を通して「私たちは決してあなたたちを見放しません。」というAMDAの活動の根底にあるメッセージを届けることが出来ました。

■派遣者

グレンダ マルティネス／医師
グアテマラ在住

ハイチ大地震に対するフォローアップ活動

2010年1月に発生したハイチ大地震に対して、AMDAでは緊急医療支援活動を実施しました。そして、復興3カ年支援事業として、これまでに義肢製作工場の運営、スポーツ交流イベントの開催、無料歯科検診などを行ってきました。さらに、復興支援の一環としてAMDAハイチ支部が中心となって、復興支援の参加者を対象にした交流イベントを実施しています。

2013年4月21日には、復興支援に参加した方々を招いての交流会がハイチの首都であるポルトープランスで行われ、53名が参加するにぎやかな会となりました。

AMDAハイチ支部長であるマック・フレデリック歯科医師が、参加者に向

けてAMDAとAMDAハイチ支部の活動報告を実施。参加者からは、「2010年12月にAMDAから義足支援をしてもらってから、自分の人生を楽しんでいます。今後は、仕事を見つけ、早く元の生活に戻りたいと思います。」「いつかまた、日本の子どもたちとのサッカー交流をしたい。」などの声が聞かれました。



久しぶりの再会を喜ぶ関係者たち

危機管理デザイン賞
会長特別賞受賞

AMDAの活動における危機管理におけるデザインが、日本公共ネットワーク機構による「2013年度危機管理デザイン賞」の「会長特別賞」を受賞いたしました。

2013 年度稲作が始まりました！

「食は命の源」をコンセプトにアジアに有機農業を啓蒙・普及することを目的とするフードプログラムの新庄村・AMDA 野土路農場において 2013 年度の稲作がスタートしました。

6 月 1 日にはお田植え式を行い、昨年度までは 6 反だった作付面積を 1 町 (10

反) に広げて、コシヒカリ米とひめのもち米を植えました。さらに 12 日にはアヒルの進水式を行い、参加した新庄村保育園の園児たちの手により、ヒナたちが田んぼに放たれました。8 月末頃までは田んぼで元気に泳ぐアヒルの姿が野土路農場でご覧いただけます。



新庄村幼稚園児も参加したあひるの進水式

インドネシア研修生・AMDA 野土路農場へ

AMDA 野土路農場のある新庄村で施行されている「アジア有機農業プラットフォーム推進条例」に基づき、2013 年 3 月に新庄村長、村議会議員等と、AMDA スタッフ 2 名がインドネシアのスラウェシ島マリノ村を訪れ、有機農業技術の移転に向けての視察を行いま

した。

そして、2013 年 4 月からは新庄村と合同で、マリノ村から有機農業研修生 2 名を招へいしています。土づくりから始まり、様々な研修を新庄村で行っています。



写真左からデンラワリ氏、稲田氏、イカワティ氏

研修生の声 アンディ・デンラワリ・マツパポリョンロ

まず、今回の研修に参加できたことを心から感謝しています。

新庄村では、有機肥料のつくり方、土壌を豊かにするための炭を利用した方法、木酢液で害虫や病気をなくする方法のほか有機農業に関する色々な研修に参加しています。また、機械を使っ

ての耕作地の準備や田植えは、インドネシアで行っている手植えの方法とは全く異なるものでした。さらに害虫や雑草を防ぐために、アヒルを放していま



あひるに餌をやる研修生のデンラワリ氏 (右) とイカワティ氏 (左)

ます。これからも、たくさんのことを学び、自国に持ち帰りたいと思います。

研修生の声：イカワティ・タリブ

4 月 18 日に新庄村に到着し、農場に出るようになってからは、トラクターを使って土地をきれいにしたり、柔らかくしたり、炭や有機肥料を撒いたりして、土を準備しました。また、有機肥料のつくり方を学んだり、草刈機の使い方の講習を受けたりしました。アヒルを放すため、アヒル小屋も作りました。

中でも最も驚かされたのは、機械を使って田植えができることで、日本は本当に進んでいると思いました。機械で田植えができるなら、広大な土地では終わるまで何年かかるような作業

もずっと良く、早くなるだろうなと思いました。この 1 ヶ月は、農地や稲の準備で忙しかったですが、田植えを終えた後ほっとしました。あとは、稲の手入れと、仕事の出来がわかる待ち遠しい収穫が残っています。

私が新庄村に来てから、村の人達は兄弟のように接してくださり、皆さん優しく、正直で、日本人は素晴らしいと思いました。本当にありがたいです。

帰国後に役立つような知識・学問をしっかりと習得したいと思います。これからも一生懸命研修に励みます。

京橋朝市に不定期で出店中



のとりダックを使った「ダックサテー (インドネシア風焼き鳥)」が月 1 回の京橋朝市に不定期で出店しています。出店予定はホームページ、ツイッターでお知らせしています。

野土路農場収穫祭のお知らせ

2013 年 9 月 28 日 (土) AMDA 野土路農場で収穫祭を行います。当日は岡山駅西口からバスが出ます。詳細は随時メルマガおよびホームページでお知らせしております。たくさんのご参加をお待ちしています。

※ホームページをご参照ください。 <http://amda.or.jp>

カンボジア HIV/AIDS プロジェクト、マラリア予防プロジェクト

AMDA カンボジア支部では、昨年に続き2つのプロジェクトを実施しました。

◆ HIV/AIDS プロジェクト

2012年度のキャンペーンは、「新たな HIV 感染者ゼロ、HIV/AIDS 患者の差別ゼロ、AIDS 関連の死亡者ゼロ」をスローガンに実施されました。HIV に対する正しい知識の啓蒙を目的として、パンフレットやTシャツを制作し、AMDA カンボジア支部が実施する研修を受けたボランティアが、コンポンスプ州やプノンペン州内の大学や高校やそれぞれの地域住民へ配布しました。また、世界 AIDS デーには、イベントを開催、地方当局やボランティアを含む 200 名が参加し、伝統的な人形劇やクイズ、パンフレットの配布を通じて、



マラリア予防に関するビデオを見る子どもたち

正しい知識の普及を行うことができました。

◆マラリア予防プロジェクト

マラリア予防プロジェクトとして、予防のための啓蒙活動のほか、地域住民の能力開発やシステムの強化、自治体の保健関係の人材と地域住民の連携を図りました。具体的には、村落保健ボ

ランティアに対する研修の実施、保健所職員に対する研修の実施、キャンペーン活動、ビデオ上映などを取り入れた地域におけるマラリア予防教育の継続、必要な医療サービスの提供促進などです。これは、地域住民がプロジェクトに参加し発言していくことで、コミュニティ内の相互理解が深まり、コミュニティ主導が確立できるという考えに基づき行われました。また実際、研修を受けた村落保健ボランティアの方々が、地域住民にマラリアの基礎知識や予防・対処法を伝える勉強会を開催することで、多くの人に正しい知識が浸透し、保健所職員の能力向上や、マラリア予防啓蒙活動の受益者の増加などの成果が見られました。

バングラデシュ ピースビルディングプロジェクト ～ Clean up for peace ～



楽しんで清掃活動を行う子どもたち

バングラデシュ・チッタゴン管区コックスバザール県マハムニ村にあるマハムニ母子寮を中心として、新たなピースビルディングプロジェクトがスタートしています。ピースビルディングプロジェクトとは宗教を超え民族が平和的に共存していくための和平事業で、イスラム教徒が大半を占めるバングラデ

シュにおいて少数派の仏教徒が住んでいる同村にある母子寮と AMDA の合同プロジェクトとして「クリーンアップ フォー ピース：Clean up for peace」を開始しました。マハムニ母子寮は、生徒たちの生活する場であり、学校としての役割も担っています。寮内は先生や生徒たちの日ごろの活動で極めてきれいに保たれていますが、一步校外に出るとゴミが散乱し、不衛生な現状があります。そこで「清潔であることは聖なること：Cleanness is Holiness」を合言葉に、定期的に母子寮の子どもたち約 100 人が寮外へ繰り出し、積極的に清掃を行う活動で、子どもたちの清掃活動を通じて地域と寮の関係も深まり、母子寮だけでなく、周辺地域の衛生への意識浸透につながると考え、本プロ

ジェクトをスタートさせました。

2013 年 1 月 1 日に、第 1 回目の清掃活動が実施され、子どもたちは、楽しみながら、一生懸命清掃を行いました。参加した子どもたちからは、「これからも続けたい」「みんなと一緒に掃除をしたら楽しい!」という声が上がりました。

AMDA ネパール子ども病院 (シッダールタ母子専門病院) 新周産期病棟落成式典



開所式典の様子

2013 年 3 月 14 日、AMDA グループ病院であるシッダールタ母子専門病院（通称：AMDA ネパール子ども病院）において、新しい周産期病棟の落成式が開催され、AMDA グループ代表として菅波茂が参加しました。

1998 年 11 月に開院した当院はこれまでに、のべ 66.5 万人の母子に対し医療サービスを提供してきましたが、26 人に 1 人は死産、新生児集中治療室で治療を受ける赤ちゃんの 6 人に 1 人が亡くなるという厳しい現実と直面していました。新しい周産期病棟の建設により、母子の命を救える重要な期間とされている周産期医療を充実が図れます。

AMDA ピースクリニック (インド) 活動報告

2009 年末にインド・ビハール州ブッダガヤに開院した AMDA ピースクリニックは開院以来、地元の人々だけでなく、ブッダガヤを訪れる国内外の巡礼者や旅行者を対象にインドの伝統医学・アーユルヴェーダの治療を行っています。2012 年度は地元を含むビハール州の患者 350 人、他州の患者 100 人、海外の患者 350 人ののべ約 800 人に対して治療を行いました。さらに、地元コミュニティにおいては無料医療キャンプや無料コミュニティ健康プログラムなどの地域保健プロジェクトが根付いてきています。無料医療キャンプでは医師 1 人、セラピスト 3 人、調剤師 2 人、アシスタント 2 人、調整員 1 人の合計 9 人で構成された医療チームがサマン

ヴェイ・アシュラム (Samanvay Ashram) を拠点にリュウマチ、頭痛、皮膚病などの患者 59 人に無料で治療を行いました。無料コミュニティ健康プログラムでは延べ 720 人の裨益者を対象に診察や薬を処方し、歩行困難や寝たきりの貧困者には訪問診療を行い、薬やセラピーを無料で提供しました。



無料医療キャンプの様子

■ご協力ありがとうございました

AMDА 会員会費納入

青山 隆一 秋田美乃枝
吾郷 達郎 浅井 美栄
浅野 泰子
(有) あすらまん 比嘉正詔
足立智恵子 阿部 直子
猪川 靖孝 池田 芳幸
池本 則子 石川 潤
石川 洋介 石野 延
磯貝トヨ子 井田 好一
板野 勝正 市位 福枝
市岡日出夫 市川 健一
市川 孝子 伊津野和行
伊東 幸雄 稲垣みどり
稲田 薫
井上 高行・高光・真行
猪俣眼科医院 猪俣 俊晴
入江 節子 岩本 智子
上田真而子 上野 白湖
埋橋 健吾 内田 敏子
畦田 正博・恵子
宇野不動産(株)
海野 晴園
海野 尚久 江口 貴博
海野 文恵 江口 貴博
江尻ひろ子 海老根 宏
大木 英子 大倉 大
大沢 ミヨ 太田 治男
大宅 邦子 大多和清美
大西 耕六 大西 美保
大野眼科
岡田 節子 小口 典子
小柳 順子 押田 連
小野 丈 香河 克政
片山 洋子 加藤 聡
加藤 豊子
(医社) かとう内科並通診療所
神澤 正三 河合 弘之
河口美千子 河田 雅史
岸田 豪 菊池 恭子
岸本 史子 木庭 雅保
木村 俊夫 木山 光江
京極 一路
鯨屋物産(株)
久保 智康 久保 雄二
熊代 哲士 倉垣久美子
倉賀野 学 黒住 茂子
小池 達也 河野 太通
越村 美子
(株) コスモス
後藤 法子 後藤 一
小西 健志 小林 真弘
小林 盛男 小林 裕
樹原 宣 酒本 浩文
さくら学園
佐々木浩二 佐々木 勉
佐藤 栄一 佐藤 勝栄
佐藤 淳一 佐藤 直子
佐藤 文彦 塩谷 千恵
(公財) 慈主会 慈主病院
篠原 良真・綾子
篠原 宙樹 島原みゆき
清水 直樹 下家 薫
申 偉秀
翠宝商事(株)
菅 やゑ子 菅原 康洋
杉野 文・美和
杉原 秀哉 鈴木 恵子
鈴木 幸男 鈴木 雅彦
鈴木 幹久 須藤 牧衛
(医) 晴風園
千田登志美 高橋 戒隆
高島 昭嘉 高見 里美
竹口 和生 田中 悦子
田中 修 谷井 宏邦
谷奥 明美 谷口 照子
谷本 徳夫 田原 隆雄
田村 豊子 千葉 恵子
千葉 裕子
継医院 継 仁
月見 省五 辻本早智子
辻本 土野 和男
坪倉 幸弘 土井 貴明
土井 利美 堂本 真弓
友野 和美
(株) トンボ
中川恵美子 中島 基善
ナカシマホールディングス(株)

永田 洋子 中村 雄一
中山 正紀 夏井 町子
鍋倉 郁子 難波比加理
新谷 岳・雅
児子 直子 布谷 隆子
野村 正博 羽熊 直行
服部 優子 林 小夜子
林 富子 林 貴子
早出 ミエ 波山 博子
原 忠 原嶋有紀子
原田智郁子 原田 光
原野 恵子 菱田あけみ
日野進一郎 平井 泰子
平山ユリエ 福田はるみ
房原 篤志 藤井俊文子
藤田 正彦 藤原由美子
古谷かおり
古谷皮膚科クリニック 古谷 清久
細沢 東一 細谷 智
堀口 温秀 堀口 拓人
堀口 真澄 前垣 義弘
増田 澄江 益田 一
益田 広子 松尾 慎吾
松田 公也 松田 久
松本 勲 松本 昌隆
三浦 和人 三浦 義美
三木佐和子 水田 恵美
(一社) 御津医師会
水戸 将史 三宅 和美
宗田 繁 村上たづ枝
村上 廣子
NPO 法人命門会 深澤智子
米良 重徳 森 将晏
森医院 森 英俊
森下美喜子 守田 善行
森田内科クリニック
矢口 文子 安原 健男
矢藤 洋子 矢野 道雄
山崎 希 山田 睦雄
山根 匡子 山本 直文
行吉 正一 横内 定明
吉井 健 吉岡 正江
吉岡 真代 余田 芳一
(株) リプロ
臨済宗 蔭涼寺
脇口 宏 和氣 文子
脇本 裕子 脇本 幸典
わしお ひでき
渡辺 節生 渡辺 益代

一般ご寄付

RNN 大連援助宗教 NGO ネットワーク
相引喜久治 相引富喜子
安喜 聖恵 朝野 富三
浅原 紀子
アジア学生連協協会日本支部 (AMSA Japan)
荒地 裕子 安藤みゆき
五十嵐佳世 イケガミセイキ
池永 修二 石井 俊一
石尾 雅子 石川いづみ
石川 富夫 泉 史博
市川きみ子
一隅を照らす運動総本部
井上 宏治
今城 新・佐和子
今中 智子 岩崎 邦子
岩橋 貢
岩屋教会
(株) ウェストホールディングス 広島本社
宇田内科リウマチ科 宇田 慎一
畦田 恵子
宇野不動産(株)
海野みづえ 江川 広子
江口 晋作 遠藤 幹夫
及川啓三郎 大饗 克美
太田 治男 大林美津子
大本 英典 岡野由加里
おかやま山陽高等学校
岡山市立中山中学校
岡山市立馬屋下小学校
岡山市立御野小学校
岡山市立桃丘小学校児童会
岡山龍谷高等学校
沖 洋子 荻山ひとみ
小倉美保子 織田澤広也
小野田順市 小幡 昌子
おひさまプロジェクト

(有) オフィスネットチュウゴ
オムロン(株)
垣本 孝精 陰山 貞憲
片田 卓夫
カットルーム ビュー
金沢ますゑ 金子 良二
金廣 悦子 金光 友枝
唐川 靖大
河内 常男・宣子
川崎多美子 川原ゆたか
河部 寛美
(株) 冠婚葬祭こころの会
ハート協力会
神田登茂子 木倉 浩子
岸本 彰五 岸本 直美
北山 俊彦 網田勢津子
木村 幸美・英子
木村 千津子
日下 喬史 黒住 茂子
甲怒修太郎 コガ セキネ
国際ソロプチミスト笠岡
小柴 裕子 小谷 正和
後藤美智子 小島 朱美
小林 正明 榎藤 文代
坂元 政子 佐久間 宏彦
佐々木 勉 佐藤 文彦
佐藤 政史 三田 忠満
下家 薫
就実高等学校・就実中学校 生徒会
新庄中学校 生徒会
翠宝商事(株)
末広 強
(医) すくすく 木村小児科 木村 真人
スダ テツオ
清心中学校・清心女子高等学校
洗心の会
瀬部美知子
(学) 梅植学園 東北福祉大学
全日信販(株)
相馬 怜子
大医寺
高島 秀子 高田 卓司
高橋 信男 高橋 誠
高見 里美 高山 輝幸
武井 邦夫
田代かよ子・文佑
龍野教会
多戸 聖司 田中 悦子
田辺 健二 谷奥 明美
谷川 浩二 谷口 宏子
田淵 総一 田村 豊子
丹 邦子 月見 省五
辻本 敏樹 土野 和男
筒井 浩代
東横イン 岡山駅東口ホテル
東横イン 岡山駅前西口広場
富岡 洋光 友野 和義
仲川 翠 中桐 一義
中澤 孝志 永沢 信之
中島 一 永田 一恵
中田 健二 中西 恒順
中村 憲司 中山 登喜恵
中山 忠男 中山 登喜恵
ナスレージ 難波 聡
新谷 岳・雅
野澤 みえ
エム・エム工業 野村尚司
萩原 正治 服部 優子
服部 令子 濱浦由美子
林 小夜子 林越 則昭
早瀬 聡子 波山 博子
原田 格二・雄一
秀平 智宏 平沢美智子
平野 晴也 平松 瑞香
平山ユリエ ヒロカコイ
広川 正子 藤井 豊
藤沢 ケイ
藤沢北ロータリークラブ
藤田 亨 藤本 敦
藤森 和美 藤家 宏之
古小路 篤
(株) ベティスミス
(株) ベネフィット・ワン
星島 淑子 堀之内明子
本間 由紀 前垣 義弘
正富 利行・里子・咲子
増田 澄江 松井 治晴
松島真由美 松田 憲幸

松田 久 松谷 康司
松本 勲 松本 一夫
マミング(株)
三木 正道 宮川 哲夫
宮原 道子 宮本 隆慶
武藤 久子 宮本 龍子
本宮山 円城寺
森 澄美 森本 啓子
モリモトサトエ 安本 保枝
山岡 弥生 山岸 春治
山田 栄子 山田 睦雄
山本 恵以 山本 幸男
ヨコヤマシュウ 吉岡 正江
吉岡 真代 吉岡 利恵
米澤登志子
臨済宗 蔭涼寺
(医社) 健社会レシャード医院
(カレスの会) レシャード・カレド
若林美奈子 脇口 宏
渡部 健夫 渡邊 満
AMDА 事務所募金箱
他匿名希望者

中国銀行 AMDА 定期預金御寄付

石川 智弘 犬飼 愛子
植田智恵子 河内真奈美
木下 晴吉 久保田貴文
鯉沼 尚子 鯉沼ゆみり
小谷 克明 坂本 和美
佐藤 郁恵 佐藤 一雄
佐藤 保夫 篠崎 敏雄
白神 恵子 城山 雅恵
妹尾 鈴子 千田 陸平
高山 友希 高山 友里
高山 洋輔 富山 栄
中桐 一義 植原 知之
東 まり子 平松 伯敬
松原 真人 山崎 由利
若宮 武

特定ご寄付

AMDА 医療と魂のプログラム
臨済宗 蔭涼寺

インドネシア

川上 桃子
長泉寺 ボランティア基金会
松本 大

カンボジア

(株) 山一観光

緊急救援(ミャンマー暴動含む)

池崎千陽子 市川 健一
(一財) ジャスト・ギビング・ジャパン
国崎 肇
黒住教本部
小島 朱美 田島ひろみ
中田 啓 中村 英之
ニチレイふれあい基金
根岸 進 松本 大
三愛財団 寄付はしる基金
村津 和雄 矢野 道雄
山下 健一
他匿名希望者

グアテマラ

有馬 啓夫 小笠原勝司
松本 大

国際会議

中瀬 克己

中国四川地震

大山 英子 国崎 肇
黒河 恵子 小林 良久
鈴木 祐子 つどい
塔原 直哉・明日葉
トミタマキ 中田 啓
中村 英之
(特活) ネットワーク地球村
ハヤシタツヒコ 古川 敬司
松本 大 万代 裕子
AMDА 街頭募金
他匿名希望者

ネパール子ども病院

J.S. Foundation

アースデイ神戸
岩城 克弘
(有) 奇兵隊
島田 義一
竹之内 葉菜・南菜
東京渋谷ライオンズクラブ
松本 大
水の都記念病院
他匿名希望者

ハイチ地震

中塚 孝子 吉澤 照代

白内障とスポーツプロジェクト

(スリランカ)
宇野不動産(株)
松本 大

バングラデシュ

房原 篤志

バングラデシュ緊急救援

国崎 肇 関上 直幸
徳永久美子 中村 英之
(特活) ネットワーク地球村
松本 大 万代 裕子
AMDА 街頭募金
他匿名希望者

バングラデシュ マハムニ

松本 大

東日本大震災(復興パートナーシップ)

from bizen (フロムビゼン)
青江 亜衣 阿部 純子
伊井 千夏 石田 静子
市岡日出夫
備前福岡の市 出店者会
上田 昭子
宇野不動産(株)
大澤 啓子 大田 幸江
大谷 清美
岡山県立興陽高等学校
岡山市立野谷小学校 児童会
岡山市立陵南小学校 児童会
岡山大学職員組合
(有) ガオー

勝山 一 神山 俊夫
河合 東子 国崎 肇
倉敷アカデミックウインズ
黒瀬 昌彦 黒瀬美砂子
桑田 幸子
(株) 研美社
(株) 廣榮堂本店
斎藤貴美子 作田 恵美
佐々木 勉 里館 徹
佐原 初枝 塩谷 千恵
篠原 良真・綾子・真祐・
恵未奈・千晶・碧
(宗) ジャパンベネフィット・ミッション
ニューライフキリスト教会
就実高等学校・就実中学校
杉野 文・美和
鈴木 澄子
妹尾産業(有)
妹尾産業(有) 従業員一同
相馬三樹男
高松農業高等学校メッセンジャー高農
立島 堅志 田中虎宇輝
たなごころのこころ
玉野市立玉中学校 生徒会
田村 悦子
天台宗岡山第四部佛教青年会
ドコモショップ東紅陽台店
直原 喜榮
(有) ナカダヤ
日蓮宗 太生山一心寺
日限地蔵尊 大雲寺
日限の縁日
瀬井イチャリティーコンサート実行委員会
藤井 逸子 藤井 昌江
藤尾 健剛 藤田 秋子
前川 節子 松本 大
宮本 龍門
みんなの焼肉 みずの手 焼 吉夫
山中 達子 山本 祥子
立正佼成会岡山教会
臨済宗 蔭涼寺 檀信徒

臨済宗 蔭涼寺
臨済宗 妙心寺派(托鉢淨財)
Yショップ長町
AMDA 玉野クラブ
AMDA 大槌・健康サポート
センター募金箱
他匿名希望者

東日本大震災国際奨学金
from bizen (フロムビゼン)
(株) S i t a R a m a
(株) W
アトリエ好花
有森 晴子
伊藤 康雄 (山田 兼司)
江藤 栄 大川 協
大宅 邦子 勝山 一
金内 和子 木村美枝子
国崎 肇
グローバルギンガファンデーション
(株) 研美社
(株) 廣榮堂本店
小山 裕司
四恩醸造(株)
瀬津由紀子 高瀬 修太
天然酵母パンの店ファミリエお客様
富田 恵子 西 美
平山ユリエ 松本 祐児
ヨネカワケイコ
他匿名希望者

フードプログラム
新庄村音楽隊

フィリピン ミンダナオ島洪水
青木 宏之 遠田 聖子
他匿名希望者

ミャンマー
宇野不動産(株)
他匿名希望者

モンゴル
青山 尚美 有安 繁子
岩崎 清子 上原 敏枝
大月智恵子
岡山市立芳田小学校
祇田 寛治 車田 初子
黒田 浩史・恭子・真末・絃江
坂手 聖範
しあわせます花見のじゃんけん大会
妹尾 君子 妹尾みよ子
妹尾 康生
(有) タミーインターナショナル
坪井 友美
那須 満利・悦子
植崎 守雅・櫻子
難波 佳代・千春・和哉
西谷 健一 西谷真由美
西村 公恵 原田 栄
原田 昌明
福田 是季・彩香
福永 栄一 藤井 典子
藤井 浩雅
(有) フジックス
堀井千津子 松本 大
三宅 文恵
森岡 素代・規江
森田美喜子 山崎 英子
山科 和彦 山本 広恵
山本 良二
横田 美幸・真幸
若林 孝行

自動販売機設置による ご支援

(特活) 国際活動支援機構
¥6,000
AWPS ¥2,230

助成金

(公財) パブリックリソースセンター

ご寄贈

物品寄付
(株) JCM 仙台支店
石塚 和夫
(生協) おかやまコープ
岡山市立陵南小学校 児童会
カトルーム ビュー
公明新聞政治部 吉本正史
鈴木 秀男
スタイナー紀美子
中村 行明
広島共和物産(株)
松野 艶子
(財) 美作教育会館
(株) リクルートマーケティング
パートナーズ

切手・葉書等
石川 静子
円底教済音教会
岡本 陸雄
岡山市立陵南小学校 児童会
小原 順子 田中 慧子
友保加奈恵 長門 浩
名越 満 野澤 みえ
野村 嘉代 平田 昌三
平山 雅通 松倉 展人
山下 順子 渡辺 智
渡辺 裕美

募金箱設置によるご寄付

(株) ウエストホールディングス 東京本社
(生協) おかやまコープ井笠エリアみちのくカフェ
カトルーム ビュー
クラブ(株) 岡山営業所
うさぎや岡山店・岡南店・
倉敷店・岡山東店
佐藤小児科 佐藤美津子
中国銀行 各支店

(株) ファインフードネットワーク
すわき後楽中華そば 庭瀬店
宮脇書店 総社店・真備店
みんなの焼肉 みずの手 穂 吉夫

ボランティア

一般ボランティア
秋山 淑恵 阿部 純子
井口 恵子 石黒 静子
一井 公子 伊藤 恭平
岩波 輪 大橋 節子
岡村 晴奈 岡本 敏夫
岡本 陸雄 小川 愛
奥田こずえ 小倉健一郎
小國 五郎 木本 豪
清輔 幸子 國重千津子
黒瀬美砂子 古部 祐蔵
小林 恒子 小見山奈美子
坂本みえ子 佐々木和久
佐藤 康介 清水 俊助
繁森 良二 下村江里子
杉山 七実 鈴木 秀男
高橋志緒里 竹谷 和子
武永 律子 竹本富貴子
田中 啓子 田中 園子
辻 さやか 登喜 望
長門 浩 西田 悠人
樋口 裕介 秀川 香苗
平野 宏枝 藤井 逸子
松下 美香 丸山加代子
水田 光重 水田 陽子
村上八重子 村野 陽治

矢部 朝子 山下真太郎
頼信 幸枝
AMDA 兵庫県支部
AMDA 鎌倉クラブ
AMDA 福山クラブ

高校生ボランティア
赤坂 佳子 赤松 由里
石川可奈子 板野 舞幸
伊藤 友里 岩田 凌汰
海野 蜜一
エイブル みちる
大西 花奈 小椋健大朗
岡 拓実 岡崎まなみ
片山恵梨子 片山 梨葉
金光 芙月 川岸 美優
木下 捺々 國富 春香
白井 綾 新家 夢紬
菅納 彩矢 谷 龍治
千々木祥子 何本 佑太
中島 碩美 野波 夏音
野村 美月 橋本 匡
服部 琴乃 福田 裕也
宮原 綾 森部 葵
山形 笑加 渡代 隆介

Web 制作 ビレル プジェタ

折込情報誌「タイムス岡山」
(株) アストロ
(株) 中野コロタイプ

AMDA-VSCO 合同シンポジウム 開催のお知らせ

～女性の人権と相互扶助～

日時：2013年9月21日 13:30～15:40

会場：岡山国際交流センター地階 レセプションホール

※ 2013年5月8日付けで、アムダは認定 NPO 法人となりました。

2013年4月～6月の動き

<講演>

5月10日 聖ジュリーの日「東日本大震災救援・復興支援活動について」
5月16日 平成25年度備前地区更生保護女性会総会「あたたかな人間愛をもって明るい社会づくり」
5月17日 フェリシモしあわせの学校「幸福大使講座」世界平和と相互扶助～大きな思想と小さな心
5月18日 学校創立90周年記念事業「AMDAの活動と飛鳥・本校創設者津田白印について」
5月24日 平成25年度消防職員コース～災害時に外国人を要援護者にしないために～「外国人住民の医療問題と情報提供の方法」
6月13日 高梁市人権問題学習講座『暮らしの中の人権』について 高梁市教育委員会
6月14日 第20回多文化間精神医学会学術総会 4年間の海外医療協力の危機管理(シンポジスト)
6月15日 第7回世界の子どもたちへの教育・医療支援イベント「AMDAの活動」「日本での震災活動」について
6月15日 平成25年度 第23期 岡山市民文化大学
6月16日 岡山地区創立20周年記念大会 記念講演
6月17日 ボランティア参加の意義について
6月19日 教育講演会「社会貢献について」
6月24日 天台宗 各教区 研修会
6月29日 被災地からの贈り物「大槌からの贈り物 大切なあなたに伝えたい事」

清心女子高等学校 第3学年
備前地区更生保護女性会
フェリシモしあわせの学校事務局
岡山龍谷高等学校
(財) 全国市町村研修財団全国市町村国際文化研修所
第20回多文化間精神医学会学術総会事務局
スマイルATG
岡山市民文化大学
岡山地区明るい社会づくりを進める会
岡山県立興陽高等学校
広島県立大門高等学校
一隅を照らす運動総本部
happyDELI 東北応援! ハッピーデリプロジェクト笑顔を届けよう!

<大学講義>

4/9・25 福山市医師会看護専門学校 第一看護学科 看護管理(災害看護)
4/16・23 玉野総合医療専門学校 国際看護・災害看護・看護持論
6月3日 岡山大学歯学部 医療法学・社会福祉学「国際医療貢献」
6月13日 広島市立大学 共通科目「NPO論」日本社会におけるNPOの役割ーAMDAの事例から
6/18・25 神戸女子大学 神戸国際教養学科専門科目「人権思想の系譜」「国際的取組ケーススタディ：NPO/NGOの場合」

<イベント>

4/12-18 アジア相互扶助災害医療ネットワーク会議
4月21日 第2回復興グルメF-1大会(主催：おおふなと夢商店街・AMDA)
5月11日 AMDA 兵庫県支部総会・講演会
5月11日 ノリ+アダ ジョイント・リサیتال(AMDA 東日本国際奨学金 チャリティーコンサート)
5/18・19 たまの港フェスティバル AMDA 玉野クラブ参加/AMDA フードプログラム(のとりダックサテー)参加
5月27日 「おかやま国際塾」開講式
6月1日 AMDA 野土路農場 お田植え
6月2日 第310回備前岡山京橋朝市 六月市 AMDA フードプログラムのとりダックサテー出店参加
6月12日 AMDA 野土路農場 あひるの進水式

<AMDA フードプログラム研修生>

(インドネシア) アンティ・デンラワリ・マッパボリョン口、イカワティ・タリブ

第 3 期 おかやま国際塾 開講

2013 年度おかやま国際塾 3 期生 3 名が決定し、6 月 16 日、岡山大学にて、3 期生の開講式を行いました。開講式では塾生の自己紹介に続き、国内研修となる講義が行われました。

第 1 講 国連法～国連 と NGO ～：岡山大学教授 黒神直純

第 2 講 『市民参加型人道支援外交』実践論：AMDA グループ代表 菅波茂

第 3 講 第 2 回『おかやま国際塾』での活動を振り返って：2 期生 笹部緑、藤田麻緒

第 4 講 AMDA の軌跡 I N スリランカ：AMDA 国際部 岩本智子、樋口裕介

今後は、8 月 21 日～28 日までの海外研修（スリランカ）に向けて、学生自らが主体となり、情報の収集、現地大学生とのやり取り、訪問先の調整、日程の計画、プレゼンテーションの準備などを行います。開講式の翌日には早速、第 1 回目のミーティングが開かれ、3 人の塾生は積極的に意見を交わしました。

3 期生の決意

岡山大学医学部 3 回生 松野 純平

今回は AMDA がスリランカで行っている医療平和プロジェクトの一端を見せていただく中で、自分が日頃医学部で学んでいる“人の傷を癒す医療”だけでなく“国の傷を癒す医療”をこの国際塾で学びたいと思っています。与えて頂いた機会を大切に、素晴らしい学びの場にできるようがんばります。



自己紹介をする 3 期生のメンバー

岡山大学法学部 3 回生 中村 文
相互扶助の考え方を常に忘れず、相手の気持ちを尊重し、私たちに出来ることを精一杯行いたいと考えています。また法学部生として何が得られるかを思考し、有意義な活動になるように努めます。

岡山大学法学部 2 回生 三方咲紀
積極的に行動し、多くのことを吸収していきたいと思っています。しっかりと準備をして、様々なことを学びたいと思っています。

インターン紹介 東邦大学医学部看護学科 4 年 勝又 望 (7 月 1 日～5 日)

大学では、国際保健看護学研究室で卒業研究に取り組んでいます。緊急救援や国際協力活動に興味をもちました。ホームページを読んで、人道援助の三原則に関心をもち、どのような具体的な意味があるだろうかと岡山に来るまで考えていました。実際にスタッフの皆さんのお話を聞いてみると、「援助を受ける側にもプライドがある」では、約 30 年という時間をかけて築いてきた信頼関係があるからこそ、「困った時はお互い様」という対等な関係で活動ができるの

だと、自分なりに三原則の意味を考え続けました。緊急救援がない日常で、どのような準備を常に整えているのか、地域社会を巻き込んだボランティアの皆さんの温かい応援の様子もわかりました。4 月からは看護師となり看護を実践していく際に、AMDA の理念を常に頭において役立てたいと思います。初めて訪れた岡山でとても不安でしたが、たくさんの温かいスタッフの方々に受け入れていただき、毎日が充実していました。

本当にありがとうございました。

ジュニアインターンシップ インターン修了証授与式



修了証授与式
(写真左から AMDA 菅波、樋口氏、岡山大学黒神教授)

2012 年 10 月から AMDA 本部でインターンとして研修を行っていた樋口裕介さんが 100 時間の研修を終え、2013 年 6 月 16 日に修了証の授与式を行いました。

インターンシップを終えて

岡山大学法学部 4 回生 樋口裕介
昨年 10 月から約 8 ヶ月の間活動させていただき、様々な経験、機会を通して本当にたくさんの事を学ぶことが出来ました。このような素晴らしい機会をくださり、また、御指導していただいた皆様に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。ジュニア・インターンシップ生としては一つの区切りを迎えましたが、スリランカでの平和構築プロジェクトをはじめ、引き続き AMDA にて活動させていただくことになっています。この修了式を機に気持ちを新たに、鋭意努力していきます。



多くの方々からご寄付をいただきました。一部を紹介します。



全日信販株式会社 様



オムロン株式会社 様



川崎医療福祉大学保健看護学科
ボランティア団体 BLS 様

岡山県立大学大学院
「災害医療援助特論」公開講座
第 10 回災害セミナー開催のご案内
～東日本大震災被災地の現状と
鍼灸治療の果たす役割と可能性～

日時：9 月 7 日 (土) 13:15 ～ 17:30

会場：岡山国際交流センター 2F

国際会議場